
第9回世界林業会議について

田 渕 隆 一

1985年7月1日から12日にかけて、メキシコシティにおいて同国政府主催の世界林業会議が開催される。読者の中にはインドネシアのジャカルタで開かれた前回の会議を御記憶の方も多きことと思う。この会議は第1回が1926年に開かれて以来今度のメキシコでようやく9回目をむかえるという、長い伝統のわりには開催回数が意外に少ない。ちなみに第8回会議の開催は1978年であった。今回この欄を借りて世界林業会議の紹介、PRをさせていただきます。

国際農業協会(1905年創設)の第6回一般会議(1924年)は林業の諸問題を世界的規模で討議するための世界林業会議の組織を決め、これを受けて協会の主催により1926年ローマにおいて第1回が開催された。会議の主題としては林業統計・林業情報の国際サービスの確立、林産物貿易、森林の適正開発等がとりあげられている。その後1936年にハンガリーのブタペストで第2回が、第2次世界大戦と1945年のFAOの創設とををさんで1949年にフィンランドのヘルシンキで第3回会議がフィンランド政府の協力のもと、FAOの主催で開かれた。この折に、会議の定期的な開催及び会議において熱帯林業問題を取り扱うことに対する要望が表明された。この熱帯林業問題討議の機会の確保は続く1954年のインドのデーラダンにおける第4回会議において実現をみた。この第4回目が注目されるべき点としてはそれ以外に、会議の目的に関する原則及び組織的な手続きの一般規則を設けたことがあげられよう。この原則により、会議は林業のあらゆる面の問題を討議するためのフォーラム(公開討論会)であり、かつ助言団体であるとの性格が明らかになった。また参加者は林業に関係するまたは関心を持つ者であり、各人はその所属のいかんにかかわらずすべての会議においては個人としての意見を述べるものとされた。組織的な面では、主催者は国家であり、FAOとの協力において準備委員会の運営にあたるべきことが定められたのである。

第5回世界林業会議はアメリカのシアトルで「森林の多目的利用」をテーマとして1960年に、第6回は1966年にスペインのマドリッドで「変化する世界経済における林業の役割」をテーマに開かれた。この間、熱帯林業問題も引続いて取上げられており、この件に関しての世界的関心の高さがうかがえる。第7回目は1972年にアルゼ

TABUCHI, Ryuichi: The Ninth World Forestry Congress

農林水産省林業試験場調査部

ンチンのブエノスアイレスで「森林と社会・経済発展」のテーマのもとに開かれ、6年後の1978年、熱帯林の賦存、熱帯木材貿易、人口のいずれも膨大な、最も典型的な熱帯林業国であるインドネシアにおいて第8回会議が開かれた。統一テーマである「人々のための森林」の下に、発展途上国の抱える食糧・エネルギー問題に直接・間接のかかわりを持つ森林の問題が討議されたのである。この会議には世界の104か国及び16国際機関から約2000名が参加した。この回のスタディーツアーの一隊は日本にも訪れている。なお日本からの参加者は約50名であった。

来たる第9回会議の紹介パンフレットによれば、「健全なる社会発展のための林業資源」が主テーマであり、さらに「開発における林業活動」を総会テーマとして各セッション及び技術委員会がすすめられる予定である。この会議においてもこれまでと同様に熱帯林業問題が扱われるが、それに加えて今回のトピックの中では環境問題、特に砂漠化防止の問題を扱っているのが眼をひく。近年の砂漠化問題の深刻化と、防止行動に対する国際世論の高まりが反映されたものと考えられよう。また前回もとりあげられたことであるが、社会林業、住民林業といわれる分野に対する関心の深さも今回のトピックの中にあらわれているようである。このように熱帯林業問題に対する関心の深さはいよいよ増してきているといえるだろう。特にこの会議に付属して国際的な熱帯林業関係者の会合ももたれる予定でもある。

すでに述べたように、この会議は林業に関係するまたは関心を持つ人々の集まりであるという点で、研究者の集まりであるIUFROよりもさらに広い底辺を持つべき性格のものである。熱帯林業関係の話題も豊富であり、会員諸子の積極的な御参加を訴えかけたい。願わくば先年京都で開かれたユフロ大会以上の参加を期待したいところである。

参加するとなるとまず気になるのが費用面である。会議への参加費についてはまだ発表はないようであるが、今回は全期間通して150ドル、学生25ドル、1日毎の参加者は15ドル/日であったことから、おそらく先年のユフロ大会の参加費程度でおさまるものと考えられる。また宿泊についてはパンフレットによれば、市内の三つ星級ホテルでシングル16ドル、ダブル21ドル、五つ星でもシングル45ドル、ダブル47ドル程度である。目をむくほどのことはないだろう。また会議の前後には幾コースかのスタディーツアーが企画されており楽しみである。どこかの旅行社がツアーを企画してくれればいっそう手軽に参加できるだろう。

なお、世界林業会議の日程等の詳細については、林野庁計画課の海外林業協力班(〒100 東京都千代田区霞が関1-2-1, 電話502-8111 内線5187)までお問合せ願いたい。